

2010 年度夏学期「高校生のための金曜特別講座」講義予定

日 時：金曜日 17:30 — 19:00

場 所：東京大学教養学部 18 号館ホール（4 月 30 日、6 月 4 日を除く）

※ 4 月 30 日は観音寺第一高等学校での講義を 1 号館 159 教室に中継

※ 6 月 4 日はコミュニケーション・プラザ音楽演奏室で実施

主 催：東京大学教養学部

共 催：東京大学生産技術研究所

	日付	講師	演題
第 1 回	4 月 16 日	野矢 茂樹 東京大学 大学院総合文化研究科 超域文化科学専攻 比較文学比較文化研究室	哲学の考え方 ——「実在と知覚」という問題を例に
第 2 回	4 月 23 日	斎藤 晴雄 東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 広域 システム科学系	まわる電子と陽電子
第 3 回	4 月 30 日	竹内 信夫 東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部名誉教授	君たちは空海を知っているか？
第 4 回	5 月 21 日	中尾 まさみ 東京大学 大学院総合文化研究科 地域文化研究専攻	ことばの臨界 —— 現代詩の実験を楽しむ
第 5 回	5 月 28 日	山内 昌之 東京大学 大学院総合文化研究科 地域文化研究専攻	なぜ歴史を学ぶのか —— 世界史と日本史を理解するために
第 6 回	6 月 4 日	松尾 純 & リチャード・トーマス 米国コーカー大学	ラテン音楽の魅力
第 7 回	6 月 11 日	増田 直紀 東京大学 大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻	ネットワークの科学 —— みんなつながっている
第 8 回	6 月 18 日	新野 俊樹 東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門	積層造形 —— 複雑な形が自由に作れる、 刃物不要の第 3 加工法 ——
第 9 回	6 月 25 日	小森 陽一 東京大学 大学院総合文化研究科 言語情報科学専攻	「日韓併合」百周年に読む、夏目漱石の『門』 —— 植民地主義と小説の世界 ——
第 10 回	7 月 2 日	太田 邦史 東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命 環境科学系	Panta rhei —— 流転する DNA
第 11 回	7 月 16 日	飯田 誠 東京大学 教養学部附属教養教育高度化機構	自然エネルギーの世界

※やむを得ない事情が生じた場合、プログラムを変更することがあります。

お問い合わせ先：東京大学教養学部附属教養教育高度化機構社会連携部門「高校生のための金曜特別講座」事務局
Tel: 03-5465-8820, Fax: 03-5465-8821, e-mail: high-school@komed.c.u-tokyo.ac.jp

第1回 2010年4月16日(金) 17:30 - 19:00

哲学の考え方

——「実在と知覚」という問題を例に

野矢 茂樹

東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻比較文学比較文化研究室

哲学という学問の独特さを体験してもらうため、「知覚と実在」に関する具体的な哲学問題を授業で一緒に考えてもらう。実在と知覚に関して、われわれがごくふつうにとられる立場は、実在と知覚を異なる二つのものと考えた二元論的立場である。しかし、実在と知覚の二元論には克服しがたい困難がある。そこで知覚一元論という立場も考えられるが、これもまた満足できるものではない。この問題状況を肌で感じ取ってもらうことが、この授業の目的である。

第2回 2010年4月23日(金) 17:30 - 19:00

まわる電子と陽電子

斎藤 晴雄

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系

電子とその反粒子の陽電子はスピン 1/2 を持っています。野球のボールの回転はいろいろな向きがありますが、スピン 1/2 には上向き、下向きと呼ばれる2通りの状態しかありません。スピンは回転なのかそうでないのか、素粒子の不思議な性質について考えます。

第3回 2010年4月30日(金) 17:30 - 19:00

君たちは空海を知っているか？

竹内 信夫

東京大学 教養学部名誉教授

空海は弘法大師とも呼ばれる。彼ほど有名で、しかも虚飾に覆われた歴史上の人物はいない。空海に比べれば、坂本竜馬も脱帽するほどに、虚実の差は大きい。なぜだろう？

歴史が、ある意味では時間のほこりみたいに、彼の上に積み重なっているからだ。空海の上に積もった歴史の時間は厚い(約 1200

年程ある)。空海も息苦しいに違いない。その重圧から空海を開放できないだろうか？

「歴史」と「物語」の不思議な関係、いずれ劣らぬ虚実の闘いについて話してみたい。

第4回 2010年5月21日(金) 17:30 - 19:00

ことばの臨界 —— 現代詩の実験を楽しむ

中尾 まさみ

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

詩は、ことばの芸術です。ことばの持ちうるポテンシャルを最大限に駆使して何かを表現しようとする営みである、と言い換えてもよいかも知れません。となれば詩作は必然的に、ことばとは何か、ことばに何ができて何ができないのか、という問いかけと表裏一体のプロセスになるでしょう。この講義では、スコットランド現代詩人、エドウィン・モーガンの機知に富んだことば遊びの詩を題材に、詩や言語にまつわる根本的な問題について、考えてみたいと思います。

第5回 2010年5月28日(金) 17:30 - 19:00

なぜ歴史を学ぶのか

—— 世界史と日本史を理解するために

山内 昌之

東京大学 大学院総合文化研究科 地域文化研究専攻

世界史のなかに日本史を学ぶ要素を見出し、日本史のなかに世界史を理解する因子を探することで、二つの歴史を統一的に考える視点と手がかりを得たいと思います。考える素材として、ナポレオンとムハンマド・アリーと島津斉彬というほぼ同時代の人物の目を通して、フランス大革命、エジプト近代化(タンジマート)、集成館事業などの性格を考えてみたいと思います。人物と事件、政治と経済などのつながりを明らかにしながら、産業化と近代化の特質を考察してみたいと思います。

第6回 2010年6月4日(金) 17:30 - 19:00

ラテン音楽の魅力

松尾純 & リチャード・トーマス

米国コーカー大学

ラテン音楽の歴史を紹介し、チェリストのリチャード・トーマス氏と共に下記の楽曲の演奏をおこなう。

Gaspar Cassadó (Spain, 1887-1966) 作曲、
Sonata Nello Stile Antico Spagnuolo 1926
(Sonata in the Old Spanish Style)

Joaquin Nin (Cuba, 1879-1949) 作曲、
Chant D'Espagne 1928 (Songs of Spain)

Luis Sandi (Mexico, 1905-1996) 作曲、
Sonatina 1965

Blas Galinda (Mexico, 1910-1993) 作曲、
Sonata 1948

第7回 2010年6月11日(金) 17:30 - 19:00

ネットワークの科学

—— みんなつながっている

増田直紀

東京大学 大学院情報理工学系研究科 数理情報学専攻

私たちは友人関係に基づくネットワークを成している。ネットワークにはたくさんの驚きが隠れている。オバマ大統領につながるためには、何人の友達を介する必要があるだろうか。答は6程度である。百や千ではないのだ。そして、ネットワークには、たくさんの人とつながった「ハブ」がいたり、クラスや部活などの小グループに分解できたりする。自分の属するネットワークを知り、さらには操作することは、生活の糧になるに違いない。また、インフルエンザは人のネットワークを通じて伝わり、検索エンジンはウェブサイトのネットワークに基づく技術であり、脳は神経細胞のネットワークである。本講義では、ネットワークの理解と応用に

取り組む「ネットワークの科学」について紹介する。

第8回 2010年6月18日(金) 17:30 - 19:00

積層造形 —— 複雑な形が自由に作れる、

刃物不要の第3加工法 ——

新野俊樹

東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門

私たちの身の回りにはほとんどの工業製品の形は、あらかじめ用意した型(かた)にとけた材料を押し込んだり、かたまりから不要な部分を取り除いたりすることによって作られています。これらの加工法は、スピード、費用、精度の面ではとても優れていますが、例えば巻貝のような複雑な形は作れません。そこで開発されたのが少しずつ材料を積み上げて形を作る積層造形です。この講義では積層造形の原理とその応用例を紹介します。

第9回 2010年6月25日(金) 17:30 - 19:00

「日韓併合」百周年に読む、夏目漱石の『門』

—— 植民地主義と小説の世界 ——

小森陽一

東京大学 大学院総合文化研究科 言語情報科学専攻

2010年は、大日本帝国が「韓国併合」を行って百年になります。夏目漱石は、「韓国併合」の年に『門』という小説を発表します。その冒頭で伊藤博文の暗殺事件が印象的に描かれています。その表現の意味を解明します。

第10回 2010年7月2日(金) 17:30 - 19:00

Panta rhei — 流転するDNA

太田 邦史

東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系

DNAという言葉は、近年様々なところで用いられている。その用法を分析してみると、「DNAは生命の設計図」という認識が強いためか、「DNAは不変である」という固定観念が潜んでいるようだ。しかしながら、DNAは全くのところ「不変」ではない。むしろ、それ自身積極的に変化する性質があるらしい。DNAって何?という人から、生物の深淵に触れたいというマニアックな人にも関心を持ってもらえる話題を提供したい。

第11回 2010年7月16日(金) 17:30 - 19:00

自然エネルギーの世界

飯田 誠

東京大学 教養学部附属教養教育高度化機構

温室効果ガスの排出削減に向けて、エネルギー資源の大量消費を抑えるための取り組みが進んでいます。とりわけ、石油や石炭などの化石資源の燃料としての消費を抑制するために「自然エネルギーの有効利用」が求められていますが、その自然エネルギーとはどんなものなのでしょうか?本講義では、太陽光発電、風力発電、波力発電、バイオマス発電といった自然エネルギー技術について紹介します。

